

事務事業名		鉛製給水管布設替事業		会計		水道事業		実施区分		
H28担当課等名		水道課		H28係等名		給水係		H27係等名		給水係
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	上水道区域内の鉛製給水管とそれを使用しているお客様(市民)		対象指標	指標名及び単位			27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	鉛製給水管を布設替することにより、安全安心な水道水の供給を行う			鉛製給水管の残存数(栓)			15372		
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度			鉛製給水管を使用しているお客様(市民)数÷鉛製給水管の残存栓数×(給水人口÷給水栓数)			30744		
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	鉛製給水管残存数			15372	14067	11767	-		
	定性目標									
事業概要	<p>配水本管から量水器までにある鉛製給水管を、計画的に布設替し、安全な水道水の提供を行う。平成25年度において、鉛製給水管の残存数について、再検証を行った。その結果に老朽配水管(水道本管)の更新、リニア等の他事業に関連する布設替等を加味した、整備計画の見直しを実施(18,934栓)。</p> <p>(1) 他事業等に伴わない単独の鉛製給水管布設替を砂払浄水場系統から順次行う。 (2) 老朽配水本管の布設替(耐震化)に伴う給水管切替工事で鉛製給水管の布設替を行う。 (3) 下水道工事、ガス工事等の他事業工事に伴う給水管切替工事で鉛製給水管の布設替を行う。 (4) 公道分漏水修理工事・宅内改修工事に伴い鉛製給水管の布設替を行う。 (5) 不明管の調査を実施し、鉛管の有無を確認。</p>									
事業内容					名称			活動指標		
27年度事業内容	1 鉛製給水管布設替事業				1 鉛製給水管布設替事業					
	(1) 鉛製給水管単独布設替				(1) 鉛製給水管単独布設替栓数	N=	1,558栓			
	(2) 老朽配水管布設替に伴う布設替				(2) 老朽配水管布設替に伴う布設替栓数	N=	53栓			
	(3) 他事業関連配水管布設替に伴う布設替				(3) 他事業関連配水管布設替に伴う布設替栓数	N=	15栓			
	(4) 漏水修理、宅内改修等に伴う布設替				(4) 漏水修理、宅内改修等に伴う布設替	N=	156栓			
(5) 調査実施により鉛管で無い事が判明した栓数				(5) 調査実施により鉛管で無い事が判明した栓数	N=	1,023栓				
				計	N=	2,805栓				
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		141,172	200,000	217,829	200,000	一般財源は、一般会計の事業費に対する1/2補助金				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		70,586	100,000	108,914	100,000					
一般財源		70,586	100,000	108,915	100,000					
人件費計(千円)②		7,152		7,152						
正規職員所要時間		2,000		2,000						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		148,324	200,000	224,981	200,000					
事業内容・目標達成状況の振り返り	対象地域が郊外に推移し、事業効率が低下してきている。残存数が確定したことにより、平成38年度を達成年度とした整備計画に沿い、事業を実施していく。									
改革改善の考え方	①問題点	対象地域が郊外に推移し、事業効率が低下してきている。								
	②改革提案	効率のよい発注方法の工夫に加え、市道内の共同管の布設替との同時施工等による事業効率の向上を図る。								